



初心

教育長 津野庄一郎

子どもの頃見た映画にブルースリーの「ドラゴン怒りの鉄拳^{てっけん}」というのがあります。理不尽な言動に怒り、悪人たちを徹底的に懲らしめるストーリーが痛快でした。鋼^{はがね}のような肉体から繰り出される突きや蹴り、素早いヌンチャクさばきに魅了されました。(悪人の多くが日本人だったのには抵抗がありました…。)暴力がいいと言っているのではありません。ありませんが、悪をのさばらせては、まともに暮らしている人たちが救われません。

このところ、教員の不祥事が全国でたて続けに起きています。横領や盗撮、わいせつ行為など常識では考えられない仕業^{しわざ}が繰り返されることに、怒り心頭に達しています。被害に遭われた方はもちろん、周りの人たちにどれだけ辛い思いをさせたのか。人として恥ずかしくはないのでしょうか。

かつて教員採用試験の業務に携わりました。こうした問題教師を採用段階で見抜けないのかという意見もありますが、面接ではまず無理というもの。人間の奥底にある弱みは現れにくいものです。一方、カメラを設置して監視するといった声も聞かれますが、それは相互不信を募らせ、一層問題を見えにくくするでしょう。そうした人間には癖^{へき}のような習性があり、多少の研修では治らないといわれます。事実が確定した際は、懲戒免職はもちろんのこと、教員免許の失効、実刑など厳正な対処が必要だと考えます。

コンプライアンス^{ほうれいじゅんしゅ}(法令遵守)違反は、自分だけでなく、家族や地域からの信頼・信用を全て失うということを、大人はあらためて自覚しなければなりません。教職員ならばなおのことです。関川の先生方には、初めて教員になった時の「子どものために頑張りたい」「子どもといるのが楽しい」「いい授業をしたい」といったあの初心を忘れず、明るく笑顔で歩いてほしいと願っています。

【写真】清流・荒川～関川村ホームページより～